

	福島県		県中地域				須賀川・岩瀬地区				石川地区				田村地区			
	44週	43週	第44週		第43週		第44週		第43週		第44週		第43週		第44週		第43週	
	感染症動向	感染症動向	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報
インフルエンザ	83	63	4	8	12	19	3	7	10	16	0	0	0	2	1	1	2	1
咽頭結膜熱	35	20	3	0	2	1	2	0	0	0	0	0	0	0	3	0	2	1
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	130	104	35	0	28	0	9	0	5	0	0	0	0	0	26	0	23	0
感染性胃腸炎	84	79	16	2	21	3	16	0	21	2	0	1	0	1	0	1	0	0
水痘	13	22	2	2	3	10	2	0	3	3	0	0	0	0	0	2	0	7
手足口病	59	28	5	1	3	1	5	0	3	0	0	1	0	1	0	0	0	0
伝染性紅斑	47	49	12	1	8	0	2	0	2	0	0	0	0	0	10	1	6	0
突発性発疹	46	24	5	0	3	0	3	0	3	0	0	0	0	0	2	0	0	0
ヘルパンギーナ	16	7	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
流行性耳下腺炎	7	5	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
RSウイルス感染症	87	59	2	1	2	0	2	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	11	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

県中地域の状況

流行中 現在、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎・伝染性紅斑の流行が続いています。

小流行中 現在、咽頭結膜熱の小流行が続いています。

嘔吐物の処理について

嘔吐や下痢を引き起こすウイルスとしてよく知られているノロウイルスは非常に感染力が強く、100個以下の少量のウイルスでも、人に感染し発病します。患者の便や嘔吐物には1gあたり100万から10億個もの大量のウイルスが含まれています。感染を予防するには、基本的な手洗い等の手指衛生、嘔吐物等の適切な処理が必要です。

○嘔吐物処理時の注意事項

- 嘔吐物の処理を行う際は、必ず窓を開け十分な換気を行きましょう。
- 処理を行う職員以外は立ち寄らないようにしましょう。
- 迅速かつ正確な処理方法で対応しましょう。
- 処理用キットを準備しておき、必要時に迅速に処理できるように備えましょう。



○処理の手順

- まず、手袋・ビニールエプロンを着用します。
- 嘔吐物をぬらしたペーパータオルや使い捨ての布で覆います。
- 使用する消毒液(0.5%)次亜塩素酸ナトリウムを作ります。
- ペーパータオルを外側からおさえて、嘔吐物を中央に集めるようにしてビニール袋に入れます。さらにもう一度、ぬれたペーパータオルで拭きます。
※ペーパータオルで覆った後に、次亜塩素酸ナトリウム液(0.5%)を上からかけて、嘔吐物を周囲から集めて拭き取る方法もあります。
- 消毒液でゆるく絞った使い捨ての布で床を広めに拭きます。これを2回行います。拭いた布はビニール袋に入れます。
- 床を拭き終わったら手袋を新しいものに変えます。その時、使用していた側が内側になるようにはずし、服や身体に触れないように注意しながら、すばやくビニール袋に入れます。
- ①～⑥の嘔吐物を処理したペーパーや使い捨ての布はビニール袋に入れて密封し汚物処理室へ運び感染性廃棄物として処理します。



○処理用キット

- 使い捨て手袋
- マスク
- 使い捨て布
- 次亜塩素酸ナトリウム
- その他必要な物品
- ビニールエプロン
- ペーパータオル
- ビニール袋

出典：厚生労働省ホームページ掲載
高齢者介護施設における 感染対策マニュアルより抜粋

この情報に関するお問い合わせ先：県中保健福祉事務所 医療薬事課 感染症予防チーム

TEL: 0248-75-7818 E-mail: kenchu_kansensyoyobou@pref.fukushima.lg.jp